

みんゆう 随想

体力勝負、超難関の聖岳山頂からの大パノラマに魅了され、夢の世界にいるような心地で暫く時間的感覚を失った。

氣力を山モードに戻して高低差2000坪の下山が始まった。砂礫の大斜面からガレのやせ尾根を一気に下り午前6時30分、小聖岳着。朝食休憩を取る。振り向くと風格と威厳を自慢そうに悠然と聳える聖岳。男らしさを象徴する感動の山である。

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング
取締役会長



9月19日。南アルプスの「塩見岳」と北アルプス最

後の山「笠ヶ岳」へ挑戦した。1カ月のブランクで始める。3000坪級の山は初めは苦しかったが、徐々にめてとあつて嬉しくも、内山体調が甦りノンストツ心不安げな土地家屋調査士で日本一高い峠にある目のAさんとともに幸運の山の地的三伏峠小屋に午後3旅を祈り、夕方7時に出発 時到着した。

東北道から北関東道に入り、自然環境を守るボランティアが保護活動中。中央に位置する塩見岳への波志江PAで1泊。早朝で、小屋は久しぶりに賑わの思いを語り合った。

山に魅せられて(21)

のハイウエーを上信越々長っている。ザックの整理と野々中央道と経由し、松川朝一でスタートする準備をICから鳥倉林道登山口Pし、干物をつまみにウイスへ上り連続カーブを慎重にキーを舐めながら横になり夕食を待った。お代わりカ

進んだ。 駐車場から舗装の林道をレーで満腹になったところイマツの茂みにザックを置50分歩き豊口山コース登山で夕涼みに外に出ると、塩見岳が霧の合間から、夕日設置できないガレ場など危分。登りが始まり豊口山間に染まり幻想的な顔を見せのころで昼食休憩を取ってくれた。 分、塩見岳の山頂に立った。